

	<h2 style="text-align: center;">練馬区立美術館からプレスリリース</h2> <ol style="list-style-type: none"> 1. 練馬区立美術館・貫井図書館改築等基本設計を平田晃久さんにお願ひしました。 2. 新館長に、伊東正伸さんが就任します。
<p>U R L</p>	<p>https://www.city.nerima.tokyo.jp/jigyoshamuke/jigyosha/oshirase/bijutsukanproposal.html</p>
<p>区は、練馬区立美術館および貫井図書館（合築施設・練馬区貫井1丁目）の改築等にあたり、設計者を選定するため、公募型プロポーザル方式による「練馬区立美術館・貫井図書館改築等基本設計候補者選定プロポーザル」を実施しました。</p> <p>建築、美術館、図書館など各分野の専門家を含め、9名の選定委員で構成された「練馬区立美術館および練馬区立貫井図書館改築等基本設計候補者選定委員会」（委員長：秋元雄史美術館長）による審査の結果、参加表明のあった25者の中から(株)平田晃久建築設計事務所が設計者となりました。今後、設計者の提案内容をもとに、令和9年（2027年）度のリニューアルオープンを目指し、基本設計を進めていきます。</p> <p>また、4月から、秋元雄史館長の後任として、国際的な展覧会など多く手掛けられてきた伊東正伸氏（現：独立行政法人国際交流基金文化事業部審議役）を美術館長に迎え、設計と並行して、展覧会などのソフト事業を更に充実していきます。</p> <p>“みどりのなかで文化芸術を楽しめるまち”の実現を目指して、練馬区立美術館などの改築等を進めていきます。</p> <div style="text-align: right;">  <p>▲プロポーザル時のイメージ</p> </div>	

1 「美術館・貫井図書館改築等基本設計業務に係る設計者の決定」について

【プロポーザルの経過】

- 令和4年8月 実施要項公表
- 11月 一次審査
- 12月 二次審査（公開プレゼンテーション・ヒアリング、最終審査）
- 令和5年1月 設計業務契約締結、設計者公表

【改築後の敷地面積、延床面積（練馬区立美術館・貫井図書館合計）】

- ・敷地面積 4,090.3㎡（現況：2,246.2㎡）
- ・延床面積 8,000㎡規模（現況：4,358.5㎡）

【今後の予定】

- ・基本設計 令和5年1月～12月
- ・実施設計 令和5年度～7年度
- ・工事 令和7年度～9年度
- ・リニューアルオープン 令和9年度

【設計者の実績等】

平田 晃久（ひらた あきひさ）

（略歴）

2005年平田晃久建築設計事務所を設立。京都大学教授。

（主な設計実績）

- ・ 2015年：太田市美術館・図書館
- ・ 2019年：八代市民俗伝統芸能伝承館

（主な受賞歴）

- ・ 2012年：第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 金獅子賞
（共同受賞）
- ・ 2018年：村野藤吾賞、BCS賞
- ・ 2022年：日本建築学会賞



2 「美術館新館長の就任」について

【新館長プロフィール】

伊東 正伸（いとうまさのぶ）

1961年、静岡県生まれ。毎日新聞社を経て、1991年より国際交流基金に勤務。「テイストと探究—1990年代の日本美術」展（1998-99年、ニューデリー・マニラ）、「写楽再見」展（国際巡回）ほか多数の展覧会を企画。ヴェネチア・ビエンナーレの日本参加にも携わった。横浜トリエンナーレの第1回展（2001年）起ち上げに参画、第3回展（2008年）事務局長。フランスにおける日本文化紹介事業「ジャポニスム2018」では、担当部長として若冲、琳派から工芸、建築、現代アートまで全14件の美術展をパリにおいて開催。現在、国際交流基金文化事業部審議役（美術担当）。



【問い合わせ】

練馬区 美術館再整備担当課

電話 03-5984-4723